

まつどしたぶんかきょうせいこうえんかい
松戸市 多文化 共生 講演会
じっしほうこくしょ
実施 報告書

こうえんかい もくてき
1 講演会 の 目的 について

にほんじん がいこくじんしみん たよう かちかん みと あ まな はたら
日本人 と 外国人 市民 が 多様な 価値観 を 認め合い、ともに 学び、ともに 働き、と
もに あんしん して 暮らす ことができる たぶん かきょうせいしゃかい じつげん めざ まつどし
では、令和 5 年（2023 年）2 月に「松戸市 多文化 共生 のまち 推進 指針」を 策定
しました。

じぎょう さくてい ししん しみん しゅうち がいこくじんしみん
この 事業 は、策定 した 指針 を 市民 へ 周知 すること、また 外国人 市民 との コミュ
ニケーションスキルである「やさしい 日本語」の 講座 を 開催 するとともに、市内に
すむ がいこくじん ほんし にほん せいかつ うえ かだい ようぼうとう じっさい き
住む 外国人 が 本市 や 日本 で 生活 する 上での 課題 や 要望 等 を 実際 に 聞くことが
できる パネルディスカッションや ワークショップを 通して、本市 における たぶん かきょうせい
しゃかい さら すいしん めざ じっし
社会 の 更なる 推進 を 目指すため 実施 するものです。

がいよう
2 概要 について

かいさいにちじ
開催 日時

れいわ ねん ねん がつ にち か しゅくじつ
令和 7 年（2025 年）2 月 11 日（火・祝日）

13:30～16:30

かいさいばしょ
開催 場所

まつどしこくさいゆうこう まつどしぶんか ない
松戸市 国際 友好 ルーム（松戸市 文化 ホール内）

たいしょう しゃ
対 象 者

しな いざいじゅう ざいがく ざいきん にほんじんしみん がいこくじんしみん めいていど
市内 在住・在学・在勤 の 日本人 市民、外国人 市民 30 名 程度

しゅうちほうほう
周知 方法

し しゅうち
市 ホームページでの 周知

しみん けいじばん しゅうち
各支所、市民 センター等での 掲示板 での 周知

こくさいすいしんか しゅうち
国際 推進課 SNS での 周知

こくさいこうりゅうきょうかい しゅうち
国際 交流 協会 のイベントでの 周知

市内に住む外国人とのコミュニケーションスキルである「やさしい日本語」の
つかかたや、市内に住む外国人のお話を聞いてみませんか。



まつどし たぶん かきょうせい こうえんかい 松戸市多文化共生講演会

～多文化共生を学ぶ パネルディスカッション&ワークショップ～

1 **日時** 令和7年2月11日(火・祝) 13時30分～16時30分

2 **場所** 松戸市 国際友好ルーム

住所 松戸市 松戸 1307-1 松戸ビルディング 4階
(松戸市文化ホール内)

3 **内容** ◆ 松戸市の多文化共生の説明

◆ 「やさしい日本語」の講演

◆ 市内に住んでいる外国人によるパネルディスカッション&ワークショップ

4 **定員** 市内在住・在学・在勤の市民約30人

5 **費用** 無料

6 **申込** 下の「7 問い合わせ先」に、電話・メール・FAX

Googleフォームのどれか方法で申し込んでください。

7 **問い合わせ先** 松戸市 文化スポーツ部 国際推進課

電話 047-710-2725

FAX 047-363-2653

メール mckokusai@city.matsudo.chiba.jp

～講師紹介～



(一社)チームやさしい日本語
理事 老邑 敬子 氏



(一社)チームやさしい日本語
理事 堀田 一也 氏



Googleフォームでの
申し込みはこちら

国際推進課では、多文化共生に係る様々な情報を発信しています。
詳しくはQRコードからホームページを見てください。

国際推進課ホームページ ⇒



主催：松戸市



3 講演会の内容について

日時 令和7年（2025年）2月11日（火・祝日）
13:30～16:30

場所 松戸市国際友好ルーム（松戸市文化ホール内）

参加者 27名 日本人市民 24名
外国人市民 3名（国籍：中国）

内容 ①松戸市における多文化共生についての説明

松戸市国際推進課による、松戸市における外国人市民の現状、
多文化共生施策の取り組み状況について説明を行いました。

②「やさしい日本語」の講座

一般社団法人チームやさしい日本語 福田 一也様を講師として「多文化共生のスタートラインとしてのやさしい日本語」と題して講座を実施しました。

「やさしい日本語」がなぜ今もとめられているか、その誕生の背景など基本的な知識から、「やさしい日本語」を使用する場面、言い換え例などについてお話をしていただきました。

③市内に住む外国人によるパネルディスカッション

以下の方々をパネリストとして迎え、自身のことについてお話をしていただきました。

<パネリスト>

松戸市国際交流員 グレゴリー キャンデン ジョン 氏
(アメリカ)

チュオン トウイ ラン 氏 (ベトナム)

まつど国際文化大使 江原 黎 様 (中国)

ダオ ティ ラン 様 (ベトナム)

マハメルコーヒー バリスタ

リノ センレワ 様 (インドネシア)

＜内容＞

パネルディスカッションの主な内容について、その一部を抜粋して記載します。

(1) 日本語について

- ・日本語の難しさは、漢字や敬語、オノマトペなど。
- ・日本人は会話を最後まではっきり言わないあいまいな表現を使うことも難しい。（「今日はちょっと…」など）
- ・日本語学校で勉強する以外では、日本のアニメや、ニュース、カラオケなどで覚えた。

(2) 日本／松戸市での生活について

- ・松戸市のいいところは、交通の便がよいところ、一定程度の自然があるところ、育児や子育て施策が充実しているところが挙げられる。
- ・苦労した点として、母国との文化の違いによってゴミの捨て方や、自転車使用に係る手続き（防犯登録、ヘルメットなど）、行政手続きが複雑なことなどが挙げられた。

(3) コミュニケーションについて

- ・近所の人とはきっかけがないとなかなか話することない。
- ・自治会に入ること、少しずつ地域の情報が入ってきてかわりを持つことができると思いますが、そこに至るまでが難しい。回覧板などの文化は母国にない。
- ・コミュニケーションをとるには、日本人、外国人お互いに勇気を出すことが必要であると思う。

④^{たぶん かきょうせい}多文化 共生 ワークショップ

^{さんかしや}参加者を4つのグループに^わ分け、それぞれのグループ内^{ない}で^{ていじ}提示した3つテーマについて^{じゆう}自由に^{たいわ}対話を^{おこな}行い、その後グループで^で出た^{いけん}意見の^{はっぴよう}発表を^{おこな}行いました。

ワークショップで^で出た^{いけん}意見について、その一部^{いちぶ}を^{ばっすい}抜粋して^{きさい}記載します。

【テーマ1】^{げんじょうはあく}～現状 把握～

○^{がいこくじん}外国人を^{いしき}意識する^{ばめん}場面や^{せつ}接する^{きかい}機会がありますか。

(^{ちいき}地域で^{しよくば}職場や^{がっこう}学校で、^{はんかがい}繁華街で^{かんこうちとう}観光地等で)

○その^{さい}際、どのような^{たいおう}対応をしましたか。

- ^{さいきん}最近コンビニで^{はたら}働く^{がいこくじん}外国人を^{おお}多く^み見かけるようになった。
- ^{がっこう}学校でも^{がいこく}外国に^もルーツを持つ^{せいと}生徒が^{おお}多くなってきた。
- ^{にほんじん}日本人は^し知らない^{ひと}人(特に^{とく}外国人になると)には^{がいかくじん}積極的に^{せっきよくてき}話そうと^{はな}しないため、なかなか^{いた}コミュニケーションをとるまでには^{いた}至らない。

【テーマ2】^{かだいちゆうしゆつ}～課題 抽出～

○^{たぶん かきょうせい}多文化 共生を^{すいしん}推進していくための^{みじか}身近な^{かだい}課題として、どんなことが^あ挙げられますか。

- ^{げんご}言語や^{ぶんか}文化の^{ちが}違いを^{りかい}理解する^{きかい}機会や^{こうりゆう}交流する^{きかい}機会が^{すく}少ない。
- ^{いま}今まで^{がいこくじん}外国人と^{せってん}接点が^{ひと}なかった人をどうやって^{うご}動かしていくか。
また^{みじか}身近な^{こうりゆう}交流という^{てん}点で^{ちようかい}町会、^{じちかい}自治会とどう^{から}絡めていくか。
- ^{おや}親に^{どうこう}同行してく^こ子どもたちの^{がくしゅうどう}学習等の^{かだい}課題。
- ^{にほん}日本の^{ぶんか}文化や^{ちいき}地域のルールについて。

【テーマ3】～^{かいけつさく}解決策^{けんとう}の検討～

○課題^{かだい}に対し、どのような^{たい}解決策^{かいけつさく}が考^{かんが}えられますか。(アイデア・^{ていあん}提案)

○多文化^{たぶんか}共生^{きょうせい}を推進^{すいしん}していくために、どのようなことが必要^{ひつよう}だと思^{おも}いますか。(地域^{ちいき}でできること、個人^{こじん}でできること)

- 様々な^{さまざま}国籍^{こくせき}や年齢^{ねんれい}の方^{かた}が集^{あつ}まれる場所^{ばしょ}があればよいのではないかと。
- 学校^{がっこう}を通じて異文化^{いぶんか}の理解^{りかい}や日本^{にほん}で暮^くらすルールなどを伝^{つた}えていくのがよいのではないかと。
- 異文化^{いぶんか}を知る機会^{しきかい}や言葉^{ことば}のいらない交流^{こうりゅう}（スポーツ・料理^{りょうり}等）が必要^{ひつよう}なのではないかと。

4 ^{かいさいちゅう}開催中^{ようす}の様子^{しゃしん}（写真）



「やさしい日本語」^{にほんご}の講座^{こうざ}



パネルディスカッション



ワークショップ



しゅうごうしゃしん
集合写真